

みんなの道路、みんなで守るろう



保土沢町内会（越戸千江会長）と市による側溝の整備作業

場所だけでなく人と地域をつなぐ道路はわたしたちにとつてなくてはならないものです。今、道路を守るうとする地域や企業の活動が増えてきています。活動を通して高まる結束と道路への愛着。みんなの道路、みんなで作ろう。問合わせは土木課（☎52-2124）へ。

広がる市と地域の協働作業

道路は安全で快適な生活を送るために欠かせない存在です。毎日使う道路は傷が付いたり、汚れたりします。道路は作って終わりではありません。みんなが気持ちよく使うためには管理や補修も必要です。市は平成18年度から「市民協働道路維持補修事業」を始めています。これは、今まで市が直していた市道などを市と市民が協働（協力）して直すという事業です。それまで、市民から「道路を直してほしい」と要望があつても、市の財政状況などからすぐに整備できないことがありました。また、「自分たちでもできる簡単な工事だから道路を直させてほしい」と要望があつても、さまざまな問題から市民に道路を直してもらうことはできませんでした。この事業では市民は労働力と地域にある原材料を、市はそのほかの原材料や建設機械による専門的な作業、技術などをそれぞれ提供します。協働で整備することによって経費が節約されるだけでなく、地域の実情に合った道路整備をすることが出来ます。平成

道路を守るため企業も活動

このほかにも、清掃など道路を自分たちで守ろうとする活動が企業などに広まっています。久慈港運（兼田忠康社長）は、社で使用する市道の清掃や粗大ごみの回収作業を毎年実施。兼田社長は「道路は自分たちが使うもの。自分や地域の人たちが気持ちよく使うためにも必要な活動だと考えている。これからも続けていきたい」と活動の必要性を語ります。また、建設業、交通機関、行政などが一体となって組織する久慈地方道路をまもる会（会長・山内隆文市長）は、街頭啓発や清掃を通して市民

大切な道路。みんなで作ろう

道路は場所と場所をつなぐだけでなく、人と地域をつないでいます。協働などの活動を通して結束が強まり、道路を大切に使うという気持ちも高まっています。道路はわたしたちみんなのもので。みんなで作っていきましょう。

18年度、19年度で計12件の事業を実施しました。本年度は10件の事業の実施が予定されています。（一部実施済み）

協働で高まる結束と愛着

7月25日～27日、西の沢町内会（荒谷義彦会長）は市と協働で歩道のコンクリート舗装整備を行いました。町内から約15人が参加して作業。市は碎石、生コンクリートと建設機械を提供しました。それまで雨が降るとぬかるみ、歩くのも大変だった歩道は、作業によってきれいに舗装されました。今では子どもやお年寄りが雨の日でも安心して歩けるようになっていました。荒谷会長は「通学と災害時の避難のためと思い事業を申し込んだ。普段あまり付き合っていない人も作業に参加するなどし、この作業によって親ぼくが深まった。自分が作った道はやっぱり気持ちがいい。この歩道に名前を付けようか、次はどこを作業しようかという話も出ている」と、地域の結束と出来上がった道への愛着を笑顔で話していました。

企業などの活動も広がっています



サンデー久慈長内店（境誠一店長）・道路の清掃活動



侑谷地林業（谷地忠一社長）・道路の清掃活動



高源機械第1ブロック（米澤隆男部長）・道路の除草作業



門前青年会いちょう会（泉田夫会長）・道路の害虫駆除活動

地域と市、協働で整備が進んでいます



岩瀬張町内会（関添文雄会長）・側溝の設置作業



西の沢町内会（荒谷義彦会長）・歩道の整備作業



寺里町内会（山崎石雄会長）・側溝の設置作業



本町町内会（待浜町・佐々木功会長）・側溝の設置作業

市民協働道路維持補修事業とは？

- 年度はじめに広報などで募集します。皆さんもやってみませんか。
- 対象になる道路=市道や生活道（私道を除く）
- 対象になる作業=小規模な整備や補修工事で、側溝の設置やコンクリート舗装などです
- 申し込み=事業を行いたい旨を土木課（☎52-2124）に申し込みください。緊急性や必要性など、工事の内容を審査して決定します

みんなで実現させましょう！ 八戸・久慈自動車道整備促進住民大会

- どなたでも参加できます。みんなで八戸・久慈自動車道への思いを届けましょう。
- 日時=9月28日（日）13時～15時
- 会場=ロイヤルパークカワサキ